

今月の
テーマ

貯めてから買う

“ためる”という言葉を例によってその意味を調べたら“貯める”と“溜める”的2つが出てきた。この2つは似ているようだが、その使われ方は全く違っていた。“貯める”的の方は、預貯金など、お金を蓄えることに用いられ、それ以外の使い方は無いようだ。お金に関しては「貯める」を使い、それ以外の物事は「溜める」を使うとあった。では、“溜める”はどんな時に使われるかを調べると、借金を溜める、脂肪を溜める、仕事を溜める、ストレスを溜める、ごみを溜める、などなど…！？なんだ、これらは無い方がいいものばかりではないか…。溜まって良いものはないか？と考えても、なかなか思い当たらない。貯まって良いものは貯まらないし、溜まなくて良いものは溜まってしまう。世の中思うようにはいかないものだなあ…。

いやいや、ぼやいてばかりいられない。今月のテーマは「貯めてから買う」なのだ。借金スパイアルに巻き込まれないためにも、何とか克服せねばならない。

ところで皆さん！何で貯めなくても物が買えるか分かりますか？今のように金融の発達がなかったころは、現金で買うしかなかった訳で、当然貯めてから買うしかなかったのだ。以前の知恵袋で“無い袖を振るえふりこぎ”というテーマにしたことがあったが…。

金融システムの発達は、リボ払い・キャッシング・カードローンなどなど、良い悪いは別として、お金がなくても買えるようになった。もしかしたら、我慢や計画性を阻害し、“物欲が先走っているのでは”との懸念もある。“無い袖を振れる”のは、一定収入が安定的に見込まれる現役までであって、年金生活の中にあっては、借りること自体がままならなくなってしまう。借金スパイアルに陥らないよう、早めの軌道修正と一緒に考えてみよう。

● 貯まらない理由



“貯めているわけではないのに貯まらない”という人も少なくないはずだ。給料が低いから、支払いが多いから、子供のお金がかかるから、などなどその理由はたくさんあるのでは…。でも、同じような環境にあっても、貯まる人と貯まらない人がいるのはどういうことだろうか…。

“貯まらない”という言い方は結果であって、“貯める”という言葉は行動を伴う。貯まらない人が良く口にする理由は、“結構節約も頑張っているけど色々と掛かるものが多く、貯蓄に回るお金は残らない”というものだ。もちろん全面否定するつもりはないが、問題は“貯めよう”という部分が先になつていいことだ。端的に言えば、貯まらないのではなく、貯めていないということだ。“人の家の計の事情も知らず、勝手なコタクを言いやがつて”とお叱りも受けそうだが、実際に貯めている人がいることも事実だ。貯まらない理由の一つとして、“貯めてから買う”が出来ていないということだ。

お金がなかつたら買えない話で、貯まるまでは買わないという癖をつけることが重要だ。先の号で提言した、“新社会人の最初が肝心、使い癖がつかないよう、計画的な貯蓄を”という話をしたが覚えておいでだろか…。“貯まらない”家計は、若きころからのお金の使い方、計画性のあり方が影響しているような気がしてならない。

つぶやき
がんちゃんの

生活に何かと役立つ連載コラム

生活知恵袋

せいかつちえぶくろ

Vol. 122



● 貯まらない理由

● つぶやきがんちゃん

齋藤 廣勝(さいとう ひろかつ)
株式会社トータルライフサポート代表取締役
・CFP®サークルファイナンシャルプランナー
・1級ファイナンシャルプランニング技能士
・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
・住宅ローンアドバイザー
・金融広報アドバイザー

こちら

保険と暮らしの相談センター

“生命保険でこんなお悩みはございませんか!?”

- ◆ 保険の見直しを検討している
- ◆ 加入している保険が本当に良いのかわからない
- ◆ 更新時期が近く、保険料がアップしてしまう
- ◆ 将来の子供の教育費が心配

相談は無料!!
納得いくまで相談できます。

お気軽にお問い合わせください。

TLS
total life support
株式会社 トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22

● 営業時間／9:30～18:30

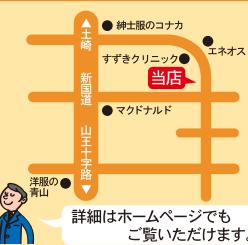
(土・日・祝日は9:30～17:00)

● 定休日／水曜日

TEL 018-827-7611

FAX 018-827-7610

URL <http://tls-akita.co.jp>



詳細はホームページでもご覧いただけます。

貯まらない家計の特徴

私が大事にしている言葉、いつも意識している言葉の一つに「すべての結果に理由がある」といふものがある。結果という現象は、偶然ではなく何かしらの理由や原因が存在しているということだ。当然に「貯まらない」という結果にも客観的な原因・理由が存在するのではないだろうか。結果を認めたくないという防衛本能的な思いから「貯まらなかつた理由」(言い訳)が後付けで出てくる。「貯まつてない」現実を直視し、客観的な事実を受け入れることから始めなければならない。貯めること自体が目的ではなく、「何に使うためか」を明確にすることが先だ。さて、貯まらない家計にはどんな特徴があるのだろうか。次に10項目を並べてみた。皆さんには思い当たるところはありませんか…?

- ①「お金が余つたら貯めよう」と考えている
- ②便利なコンビニをよく利用している
- ③将来に予定されている支出が把握されていない
- ④必要なものがあつたらすぐに購入する
- ⑤お金が貯まつていの理由がすぐ出てくる
- ⑥自分よりも貯金が少ない人を見て安心する
- ⑦生活費の口座からの引き出しは、必要な分をそのまま度行っている
- ⑧生活費が足りなくなると、クレジットカードで支払う
- ⑨リボ払いをよく利用している
- ⑩ローン等の残高の合計が分かつていない

もし、「一つでも思い当たる部分があつたら、何かしらの対策や修正をすべきである。

【収入一支出=貯蓄】

收入から生活費などを支出して、残つたら貯蓄も積立てを始めよう。

【収入一貯蓄=支出】

収入から貯蓄に回す分を寄せてしまつて、残つたものが生活費として使えるお金というやりかた

で支出と貯蓄の順番を逆にすればいい。『そんなことを言つたら使えるお金が無くなつてしまつ』といふ声が聞こえてきそうだが、もしされが出来ないとすれば、いつまで経つても貯金はできず、買つてから払うという借金スパイアルに陥つてしまふ。車や電化製品の買い替えなども、次の購入定期積立が有効で、その口座は独立したものとし、目的以外には使わないようにしてることが重要だ。

『貯めてから買う』サイクルが回り始めれば、購入した車は財産になる。しかし、ローンの場合は途中で売つてもマイナスとなり、負の財産となつてしまふ。最初は苦労するかもしれないが、借金スパイアルを抜け出すためには、いつか通らなければならぬ道だ。貯めている人の多くは、積立て型の商品をよく利用し、楽しんでいる。時々、知らず知らずのうちに大きくなつて積立額を見て、ニンマリ…。貯まり始めるとき速度がつくし、楽しいこと間違ひなしだ。

● どんな積み立て方法が?

王道は、「自動積立定期」で、毎月一定の期日に、普通預金(給与振込口座)から一定額を積立専用口座に自動的に移動させるというのだ。普通口座から毎月問答無用で引かれ、積立定期として増えていく。キャッシュカードでの引き出しはできないので、一見不便のようには思えるが、逆に簡単に使えないという点はメリットと言える。

また、将来に予定される、目的毎に分けた口座を作れば、より分かりやすいといふのだ。積立の手段は、他にも財形積立や積立NISAなど様々なあるが、ここではその説明は割愛させていただく。このところの低金利にあつては、何れもドングリの背比べ状態である。それぞれが利用しやすいものでいいので、まずは始めることが重要だ。

● 来月号は

“溜める”から“貯める”へ

“貯つた”預貯金等は大歓迎だが、ローンやストレスなどの“溜つた”ものが多くなると何かと厄介だ。お金の問題は家庭内の不和をも招きかねない。そもそもがストレスになつてしまふ。家計の健全化を目指して、積立のスパイアルを作り上げよう。

どこの国で、老後の生活費は2000万円足りないとかで大騒ぎしている。そのドタバタに便乗し、老後の生活費を考察してみよう。

あること極まりないが、もしかしたら抜け出せないくらいにハマつてしまふかもしれないし、やがて素敵な顔に見えてくるかもしない。

● ローン脱却、こんな考え方もある

小生の若かりしころ、初めて購入した車は高級車どころか中古車で、それもローンでの購入だった。その時決めたのが、3年以内に返済するといふルールだ。3年ローンを組んだ時に返済できる金額逆算的にそれに見合つた車だった。次の買替も同様、その後に軽の新車を買った時も3年ローンで、無理な返済にならないよう毎月の返済額を設定した。当然それだけでは足りないわけで、その分は自己資金が必要となる。3年間の返済が終わつた後の車は確実に財産となる。その後、ローンからの脱却となるが、いつたん自己資金で購入してしまえば、次の買替に向かつて積立てていけばいいだけだ。貯まつてあるお金が少なければ、それ相当の車にすればいいだけだし、グレードを上げたければ、その分多くの準備をするだけだ。ローンであれば貯めて買うのであれ、毎月の支出が“返済”か“積立”かの違いで大差はない。一旦、掛け違えたローンのボタンをはずし、掛けなおさえすれば最後のボタンをかける場所はちゃんと残つている。これで、マイカーローンスパイアルは終了と相成る。貯めてから貯えればお金の価値は利子が付いた分大きくなるし、買ってから払えば支払利息の分、お金の価値は減少する。お金を増やしながら買つか、延々と利息を払い続けるのか、さて選択する時が来た。